

リーグ第4節

駒澤大学0 - 1 早稲田大学ア式蹴球部B d

この日は不完全燃焼に終わった田村。チームの浮沈は彼のプレーにかかっている (撮影・斉藤卓也)



2006年9月24日 筑波大学グラウンド
インディペンデンスリーグ(後期)
ブロック 第4節
駒澤大学0 - 1 早稲田大学ア式蹴球部B d

【得点】
70分:[早]
【メンバー】
G K山口一平
D F 武井健太郎 (→64分奥野拓也) 志田亮輔、森本勇一、葛山公基
M F 桐原崇弘、湯川貴嗣 (→76分林昇平) 田村貴之、山崎良介 (80分小野川善和) 佐藤涼介 (→61分奥村英樹)
F W岡村実 (→84分伊藤眞史郎)



・中盤を広く動く周り、チャンスをつくった湯川だったが、惜しくもゴールに結びつかなかった (撮影・中野成博)

勝負所で踏ん張れず初の連敗・・・

団結力で勝利を

後期開幕2連勝を飾ったが前節初の敗北を喫し、連敗できないこの早大戦はここの一番の大事な試合である。これまでMFの田村を中心とした攻撃でR・K・U・U 21・神大を次々破ってきたが、前節R・K・U・U 20戦ではその田村を活かしきれず敗戦。今日の試合の勝敗の鍵は田村が握っているのは間違いないかった。

試合開始、「前半が勝負だった」と田村も語るように、立ち上がりから駒大の怒濤の攻撃が続いた。左サイドの佐藤、ポランチの湯川を中心に早大陣内に入り込み果敢にゴールを狙うも、前節に引き続き決定力に欠く。リーグ絶好調の田村にもなかなかボールが繋がらず、圧倒的駒大ペースもスコアは動かさず後半へ。

後半は一転し早大ペース。後半25分相手にスルーパスで最終ラインを抜け出され失点してしまう。失点後も早大ペースは続き、点を奪うことも出来ずに初の連敗。大切な試合だっただけに試合後の選手表情は暗かった。だが、この試合で明確になったのは田村を活かすことが勝利に繋がることだ。

次の試合に向けて、「もっと走る。チャンスをつくる。繋ぐことが課題だ」と思うので頑張ります」と田村。早いドリブルと正確なクロスが特徴の攻撃的MF。小柄な体格からは想像出来ないトリッキーなプレーは誰をも魅了する。

リーグの魅力はこれだけではない。リーグを戦う駒大イレブンの魅力は雰囲気の良い。一致団結。そんな言葉がとても似合うチームだ。2年生が大多数を占めるチームの中心となり、それを支える3・4年生。1年生もチームに溶け込んでいる。このチームには笑顔が絶えない。トップチームの試合の後、自ら練習する姿勢など勝ちたい気持ちはとても強く感じられる。残り4試合ヒッチの上でこの団結力を勝利に繋げることが出来るのか、若き駒大イレブンに注目だ。

(塩田英美)

～お知らせ～
FORZA駒澤BOXを駒澤大学駒澤校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しています。毎週金曜日に置いているので、ご自由にお持ちください。

発行人 永田博義
スタッフ 香取真人
斉藤卓也 林 雄大
塩田英美 土屋春佳
中野成博 星 宏樹

FORZA駒澤は毎週金曜日に発行！お便り、感想などはこちらまで
〒154 8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
forzakomazawa@hotmail.com
TEL/FAX 03 (3418) 9566 発行人 永田博義

次節は中央大学と対戦！

<場所> 高崎市菅浜川陸上競技場
<日程> 9月30日(土) 14:10
競技場へのアクセス
JR 高崎線「高崎」駅下車、タクシー20分